

# 「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」 調達プロセス・工事内容の検証について

2021年6月4日  
広域系統整備委員会  
コスト等検証小委員会事務局

## ■ 北海道本州間連系設備の検証は以下の通りを行う。

### 1. 調達プロセスの検証

東京中部間連系設備における主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方と比較し、基本的な考え方の妥当性を検証する。

### 2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 実施案や過去の工事实績との対比（物量に応じた工事費となっているか）。
- ② コスト低減施策を行っているか。
- ③ 実施案や過去の工事实績の概算工事に比べて増加する見通しとなった場合には、増加要因・理由や対応策。

### 3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。
- ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策も確認。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しとなった場合には、対応策の検証。

検証項目・時期	調達プロセスの検証を行う項目例
<b>1. コスト等検証 開始から早期（基 本的な考え方）</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>広域系統整備計画に係る事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方</b><ul style="list-style-type: none"><li>✓ 原則として市場原理を確保していると言えるか（競争入札を原則としているか等）</li><li>✓ 随意入札とする場合の考え方</li><li>✓ 競争入札とする場合において、一般競争入札と指名競争とする場合の考え方</li><li>✓ 海外調達の考え方</li></ul></li><li>➤ <b>主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方</b>※<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 主要設備・主要工事について、<ul style="list-style-type: none"><li>• 発注方式の考えられる選択のパターンおよびその考え方</li><li>• コスト低減方策の選択肢</li></ul></li><li>✓ 想定される主要設備・主要工事は、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>• 主要設備（資材）：F C、変圧器、引出設備、鉄塔材、電線</li><li>• 主要工事（請負）：土木工事、建築工事、送電工事</li></ul></li></ul></li></ul> <p>※ 当該時点で調達方法の見通しが立っているものについては、その詳細を確認</p>
<b>2. 「2. コスト 検証の概要（検 証の時期）」に示 す時点</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ <b>発注方式の選定について</b><ul style="list-style-type: none"><li>✓ 上記の「1. コスト等検証開始から早期（基本的な考え方）」における検証内容に沿った内容であるか。</li><li>✓ 原則として市場原理を確保している発注方式となっているか（合理的な理由なく、競争入札以外を選択していないか等）</li><li>✓ コスト低減の取り組みがなされた発注方式となっているか。</li></ul></li></ul>

## 1. 調達プロセスの検証（基本的な考え方の検証）

### ①事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方

- ✓ 事業実施主体の調達プロセスに関する基本的な考え方は、市場原理を確保した一般競争入札を前提に検討することとしている。

### ②主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方

- ✓ 事業実施主体の主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方は、上記の「調達プロセスに関する基本的な考え」と同様に、**市場原理を確保**を前提に検討。なお、変電設備の調達プロセス（発注方式、コスト低減施策）および工事内容については、次回のコスト等検証小委員会で検証する予定。

## 1. 調達プロセスの検証（送電設備に関して）

- ① 250kV直流送電線（北斗今別直流幹線）増設工事および275kV交流送電線（今別幹線）増強工事の調達プロセスについては、より安価な事業者を決定する**一般競争を採用**するなど、事業実施主体が示す調達プロセスに関する基本的な考え方と整合している。
- ② 競争入札を採用しており、調達における**競争環境は確保されている。**
- ③ 加えて、コスト低減については、主要設備（電線）の一括発注方式の採用や、メーカーごとの受注希望パターンに基づく最適な組み合わせを選択できるカフェテリア方式の採用など、**プロジェクト全体として現時点で考える採用可能な方策**が検討されている。

## 2. 工事内容（工事費）の検証

工事費の検証は別途コスト等検証小委員会で検証する予定。

## 3. 工事内容（工期）の検証

工期の検証は別途コスト等検証小委員会で検証する予定。